

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
286	2009/4/27	90155	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
287	2009/4/27	90156	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組み換え細胞	ベビーハムスターの腎臓	数10年前に樹立したマスターセルバンクに使用した細胞株のため原産国不明	製造工程	無	無	無			
288	2009/4/27	90157	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
289	2009/4/27	90158	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水	日本	製造工程	無	無	無			
290	2009/4/28	90159	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	810051に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	810681に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	810681に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	810131に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	900681に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(5): 19066	810681に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
													Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	901391に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感 染症学会第 40回総会・学 術集会 E- 20	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回 日本 血液学会総 会 2008年 10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事 業学会第32 回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
291	2009/4/28	90160	日本赤 十字社	pH4処理酸性人免疫グロブリン	pH4処理酸 性人免疫グ ロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	有	ウエストナイル ウイルス	ABC Newsletter No.38 2008 年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年ブリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年ブリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年ブリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
													Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-190	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
292	2009/4/28	90161	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	ミドリザル腎臓細胞	ミドリザル腎臓	日本	製造工程	有	無	無	黄熱	Trinidad&Tobago Express 2009 Jan 12	トリニダード・トバゴで多数のサルの死亡が確認されている為、念のため黄熱ウイルスに対する予防接種を受けるよう呼びかけている。
												黄熱	Trinidad&Tobago Ministry of Health web 2009 Jan 19	トリニダード・トバゴ保健省は、森林で死亡して発見された2頭のサルの剖検の結果、黄熱ウイルスの感染が認められたことを報告した。過去に1988年、1995年、1999年にサルの黄熱感染が確認されているが、ヒトでの黄熱ウイルス感染はなかった。
293	2009/4/28	90162	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	ウシ血清	ウシの血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	中毒	ProMED 2009 Jan 17	メキシコ、Zapotlanejo市でクレンプテロールによる中毒と確定診断された患者9例が報告された。発生源の精肉店は直ちに閉鎖され、現在、ウシの肝臓の売買が禁止されている。2008年にも21人のクレンプテロール中毒が発生している。
												感染	ProMED 2009 Jan 29	ドイツで2008年前半より"Blood sweating disease"で仔牛が死亡している。原因は不明である。この疾患はドイツ各地で発生しており、ババリアでは40頭の症例が確認されている。ミュンヘン大学のclinic for ruminantsも同様の症例を報告している。主に、生後2~3週間の仔牛が感染している。
294	2009/4/28	90163	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	ラクトアルブミン	ウシの乳	ニュージーランド	添加物	有	無	無	中毒	ProMED 2009 Jan 17	90162に同じ
												感染	ProMED 2009 Jan 29	90162に同じ
295	2009/4/28	90164	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	トリブシン	ブタの膵臓	アメリカ・カナダ	製造工程	有	無	無	エボラ出血	http://www.aIartnet.org/the news/news desk/SP222378.htm	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
												エボラ出血	GMA NEWS.TV 2009 Jan 30	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認された。サル以外で同ウイルスが確認されたのは初めてであり、ブタからヒトへの初の感染例である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												サルモネラ	GMA NEWS. TV 2009 Feb 2	フィリピン・サマル州において2008年12月以降ブタでサルモネラ感染が流行し、84頭が死亡、約772頭が罹患した。その他25頭が感染疑いでと殺された。2月9日現在、感染は制御されたと、同地域の農業省職員が述べた。
												中毒	BBC News 2009 Feb 23	中国でクレシブテロールに汚染された豚肉の摂取により、70人以上が発病した。豚肉は広東省・広州の市場から流通したもので湖南省の農家で飼育されたもの。
296	2009/4/28	90165	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ウシ血清由来成分	ウシ血液	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
297	2009/4/28	90166	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ウシ乳由来成分	ウシ乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
298	2009/4/28	90167	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ヒトリンパ芽球細胞樹立株ナマルバ細胞	ヒト細胞	—	製造工程	無	無	無			
299	2009/4/28	90168	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	ヒツジ血清由来成分	ヒツジ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
300	2009/4/28	90169	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	加熱人血漿たん白	人血液	米国	添加物	無	無	無			
301	2009/4/28	90170	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	鶏卵由来成分	鶏卵	—	製造工程	無	無	無			
302	2009/4/28	90171	大日本住友製薬	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	マウスハイブリドーマ由来モノクローナル抗体	マウス細胞	日本	製造工程	無	無	無			
303	2009/4/28	90172	CSL ベーリング	—	アプロチニン	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
304	2009/4/28	90173	CSL ベーリング	—	ヘパリン	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症 (PT)	出典	概要
305	2009/4/28	90174	CSL ベーリン グ	-	ウマコラーゲ ン	ウマ深部指 状屈筋腱	フランス、ド イツ、ベル ギー、イタ リア、オー ストリア、 米国、カナ ダ、ブラジ ル	支持体	無	無	無			
306	2009/4/28	90175	CSL ベーリン グ	-	トロンボブラ スチン	ウサギ脳	ニュージ ーランド	製造工程	無	無	無			
307	2009/4/28	90176	CSL ベーリン グ	-	トロンピン画 分	ウシ血液	ニュージ ーランド	製造工程	無	無	無			
308	2009/4/28	90177	CSL ベーリン グ	-	ヒトアルブミ ン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	添加物	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	1995年から3回/週でIVIG治療を受けていた61 歳女性は、1997年1月～1998年2月の期間に、 後にvCJDを発症した供血者由来の製剤を使用 していた。この女性の死亡後、剖検により脾 臓、リンパ節、脳内のプリオン蛋白を検査した が、検出されなかった。
309	2009/4/28	90178	CSL ベーリン グ	-	アンチトロン ピンⅢ	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	製造工程	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
310	2009/4/28	90179	CSL ベーリン グ	-	ヒトフィブリ ノゲン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
311	2009/4/28	90180	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	Eurosurveillance 2008; 13: 1-2	アフリカ南部における初のアレナウイルス感染症例。ザンビアで発症した患者が南アフリカ・ヨハネスブルクに移送されたが発症10日後に死亡。移送した救急隊員1名及びヨハネスブルクで看護を担当した看護婦1名も約1週間の潜伏期間の後発症し死亡。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
312	2009/4/28	90181	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	-	有効成分	無	無	無			
313	2009/4/30	90182	メルスモン製薬	胎盤絨毛分解物	胎盤絨毛分解物	ヒト胎盤	日本	有効成分	無	無	無			
314	2009/4/30	90183	バグスター	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	1996年に血漿を提供し、その6か月後にvCJDを呈したドナーの血漿由来の第8因子製剤を使用した血友病患者について、この度、検死によりvCJD感染が報告された。血漿分画製剤によるTSE伝播の可能性を示唆する初の報告である。
315	2009/5/1	90184	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	人血液	日本	有効成分	有	有	有	細菌感染	Am J Infect Control 2008; 36: 602	減量法として両耳の上部耳介軟骨に置き鍼治療(Stapling)を受けた16歳の女性が、2週間後に左耳の鍼周囲の紅斑および圧痛を呈した。膿瘍ドレナージ検体の培養および感受性試験の結果、両耳で著しい緑膿菌の生育が認められた。21日間の経口シプロフロキサシン投与により回復した。外耳軟骨は、血流に乏しく特に感染しやすい。耳鍼が危険な緑膿菌感染を起こす可能性があることを医師は認識するべきである。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症 (PT)	出典	概要
												レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	米国。ルーチンの細菌培養スクリーニングを実施したプール血小板の輸血を受けた患者が、C群連鎖球菌感染症により死亡した。遡及調査の結果、無症候性の供血者が原因と考えられた。現在の検査法の限界を示す報告。
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	全血血小板の細菌汚染リスクを低減させるためには、初流血除去及び細菌培養によるスクリーニングが有効な方法であることを示す報告。
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	欧州における2006年の感染症の発生報告はクラミジアが最も多く、以下、ランブル鞭毛虫症、カンピロバクター症、サルモネラ症、結核、流行性耳下腺炎、淋病、C型肝炎、侵襲性肺炎球菌疾患、HIVの順であった。
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	2007年度のCBERに報告された供血後及び輸血後の死亡例概要。受血者76件、供血者17件の死亡報告。受血者死亡の内訳は、52件が輸血関連もの、11件が輸血関連性否定できないもの、13件が輸血と関連しないものであった。
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008- 2	輸血を介したバベシア症死亡例の報告。1998年の1例以降しばらく無かったが、2006年1～10月にはFDAに5例が報告された。生物学的製品逸脱報告サマリーでは、過去10年間にバベシア症関連報告が68件あり、近年この報告が増加傾向にあることは、バベシア症伝播に係る輸血関連リスクが増加していることを示している。
												アメリカトリパノソーマ症	Transfusion 2008; 48: 1862-1868	スペイン、カタルーニャ血液銀行は、高リスク供血者におけるシャーガス病スクリーニング計画を実行し、供血者集団でTrypanosoma cruzi (T. cruzi) 感染の血清学的陽性率を調査した。その結果、全体の陽性率は0.62% (1770名中11名) で、最も陽性率が高かったのはポリビア人であった (10.2%)。陽性者11名中1名は、シャーガス病流行地域に数年間滞在したことのあるスペイン人であった。非流行国の高リスク供血者にT. cruziスクリーニング検査を実施する必要性がある。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												アメリカ・トリパノソーム症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	米国で2007年から開始された供血者に対する T. cruziスクリーニング検査の結果、2007年1月29日～2008年1月28日の陽性率は1/30,000であったが、受血者には明白な感染症例はなかった。最も陽性率が高い地域はフロリダ南部であった。
												マラリア	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1434-1436	2007年にマレー半島でフィンランドの旅行者が、通常はサルにおけるマラリアの原因となる二日熱マラリア原虫に感染した。二日熱マラリア原虫はヒトマラリアを引き起こす第5のマラリア原虫種として確立された。この疾病は生命を脅かす危険があり、臨床医と臨床検査技師は旅行者においてこの病原体を更に注意すべきである。
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	オーストラリア赤十字は2005年7月から、マラリア感染のリスクのある供血者に対し、従来の医療歴・渡航歴の収集から、リスクへの暴露を特定した時から最低4ヶ月間のマラリア抗体のスクリーニングを実施する代替戦略を導入した結果、既存の供血者に由来する輸血可能な製剤の製造効率は著しく向上し、輸血伝播マラリア症例の報告もなかった。
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	1997年より韓国軍はヒドロキシクロロキン及びプリマキンを用いた予防的化学療法を実施し、マラリア患者の急増を防ぐことができたが、調査登録患者484名中2名にクロロキン耐性 Plasmodium vivaxを確認した。
												リケツチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケツチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回日本血液学会総会 2008年10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
316	2009/5/1	90185	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	有	有	細菌感染	Am J Infect Control 2008; 36: 602	90184に同じ
												レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	Transfusion 2008; 48: 1862-1868	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	90184に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												マラリア	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1434-1436	90184に同じ
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter No.38 2008年10月17日	81068に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	810051に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター11	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	2008年プリオン研究会 2008年8月29-30日 ポスター18	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS ONE 2008; 3: e3017	81013に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20080825.2648	90139に同じ
												ウイルス感染	BuaNews online 2008年10月13日	90139に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
													Vox Sanguinis 2009; 96: 14-	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												B型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 1880-1884	90139に同じ
												B型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 174-180	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感 染症学会第 40回総会・学 術集会 E- 20	90139に同じ
												C型肝炎	Clin Infect Dis 2008; 47: 931-934	90139に同じ
												C型肝炎	第70回日本 血液学会総 会 2008年 10月10-12日	90139に同じ
												C型肝炎	日本血液事 業学会第32 回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
317	2009/5/11	90186	東和薬品	ウリナスタチンの注射液	ウリナスタチン	ヒト尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	ニパウイルス	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1974-1976	中国で2004~2007年に自然生息のコウモリを捕獲し、血清、咽頭、糞便におけるニパウイルス遺伝子及び糖タンパクの検出を行った。その結果、692標本中33標本(23匹中9匹)で陽性を示した。特に、雲南省からのホオヒゲコウモリの抗体が突出していた。
318	2009/5/15	90187	ワイス	ポリフィマーナトリウム	ポリフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	90056に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
319	2009/5/20	90188	富士フイルムRIファーマ	テクネチウム人血清アルブミン(⁹⁹ mTc)	テクネチウム人血清アルブミン(⁹⁹ mTc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	米国ウエストバージニアで妊婦における初めてのラクロス脳炎ウイルス(LACV)感染が見つかり、その後、分娩時の臍帯血からLACV抗体が検出され垂直感染が疑われたが、出生後6ヶ月までLACV感染兆候は見られていない。親が子の血清検体採取を拒否しており感染は確定できていない。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												黄熱	ProMED-mail2009040 2.1217	サンパウロ奥地において2009年2月より黄熱が流行しており、その中で母子感染が確認された。初の黄熱の母子感染報告である。
320	2009/5/22	90189	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	血液凝固第IX因子	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
321	2009/5/22	90190	ベネシス	トロンピン	トロンピン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
322	2009/5/22	90191	ベネシス	乾燥人フィブリノゲン	凝固性たん白質	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Lancet Neurology 2009; 8: 57- 66	90141に同じ
												コクシジオイデ ス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
323	2009/5/22	90192	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	人血液	米国	有効成分	有	有	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Lancet Neurology 2009; 8: 57- 66	90141に同じ
												コクシジオイデ ス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
324	2009/5/22	90193	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Lancet Neurology 2009; 8: 57- 66	90141に同じ
												コクシジオイデ ス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
325	2009/5/22	90194	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	ヘミン	ウシ	米国及び製造時にBSE問題のない国	製造工程	無	無	無			
326	2009/5/22	90195	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
327	2009/5/25	90196	化学及血清療法研究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20081028.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
328	2009/5/27	90197	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	人血液	日本	有効成分	有	無	無	B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ